



じゃがいものおうち通信

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

1998年11月19日 NO.3

98年度 朝日福祉助成金50万円決定!

先日、「NHK厚生文化事業団」のわかば基金と、「朝日福祉助成金」に申し込みをしたところ、なんと!!朝日福祉助成金の方が助成していただくことになりました。じゃがいもを売ることや出店などによる収入の道しかなかった私たちにとって、天からの恵みでした。「じゃがいものおうち」の活動をこれからも頑張ってくれというメッセージと受け止めることにしました。事実、この助成金の応募時期から、私たちの動きが活発になり、これからのじゃがいものおうちのビジョンを話し合いまとめるよい機会となりました。ちなみに、この助成金でパソコン関係の機材購入をし、全国のまだ見ぬ想いを抱く仲間たちとの情報交換の手段等にさせてもらおうと思います。島国日本の、おきざりにされている離島福祉を共に考えていく道具としていこうと思います。インターネットで全国&世界が身近になります。みなさんどんどん使ってください。いろいろな御意見お待ちしております。(楯)



日高利枝子さん作

私が思うこと 平内 斉藤 直樹

私の息子名前を那斐樹(ないき)といいます。現在1歳6ヶ月です。那斐樹は生後5ヶ月のときに突然、心肺停止に襲われ、尾之間診療所での一生懸命な手当で1時間20分後蘇生しました。その後、市立病院・南九州病院に7ヶ月入院しました。現在も自宅でリハビリを続けながら月に1回は南九州病院に通院(1~2週間入院)をしています。この間にも屋久町・鹿児島県には大変お世話になりました。しかし、低酸素脳症という病気でまだ首も据わらずいつも寝たきりです。このままでは筋肉が衰え一生寝たきりになると先生はいます。たまには抱きかかえて、座らせてはいるのですが、最近では重くなりなかなかです。そこで座位保持椅子を作ることにしたのですが、これが結構いい値がします。身体障害者手帳があれば補助があるというので申請しましたが、3歳未満は回復することがあるということで却下されました。先生が3歳になってからでは遅いというので結局自費で作ることになりました。もちろん回復してくれば、バンバンザイです。そのためにも今、座位保持が必要なわけで、また今は障害者であることは認めているのだから、それならば3歳までの期限付き手帳などの方法を取ってくれればと思います。那斐樹のほかにもこれからこういうことがあるかもしれません。その時のためにも障害者福祉法についてもう少し考えてもらいたいです。



たくさんの御意見・ご感想をお寄せ下さい!!

子供からお年寄りまで
みんなで作ろう押しピン各種

11月29日
PM2:00~
尾之間 楯宅で



台風後の落ち枝、宅地造成後の廃木、工事現場の廃木等を燃やすか? そのまま腐らすか? 土の中に埋めるか? でも、その中のほんの少し拾ってみませんか。

今度、試作する押しピンは、小枝を輪切りにして作ります。小枝を切った時のにおい、持ったときの感触、それぞれ違う樹皮の模様、

とてもすばらしいです。他にも貝の小片でも作る予定です。

押しピンに限らず、まだまだ皆さんの気づいていない自然の利用法がいっぱいあるはずですよ。

都会生活ではあまり感じることもできない自然が屋久島では24時間五感をピンピン刺激しているはずですよ。この貴重な体験を生かし、自然からの授かり物を大切に、物作りに生かしたいと思います。

来年には、第2段として「小枝、ツタ等を利用した虫作絵」を予定しています。

29日には各自、ノコギリ(歯の細かい物)、ナイフを用意して下さい。

もし、自宅の回りに、直径約1~1.3cm位(画鋸の大きさ)の小枝があったら持参して下さい。

(ポンド、画鋸は用意します。)

屋久島の自然に感謝!(金沢)

~~~~~  
これから毎号、先日植えたじゃがいもの成長記録を載せていきたいと思えます。絵は松田さんが担当します。

11月19日1回目の土寄せだそうです。

~~~~~

ジャガイモの成長記録1
(植え付け後17日目)



絵 松田 正